
かけがえのない友達

藍沢音菜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

かけがえのない友達

【Nコード】

N8275K

【作者名】

藍沢音菜

【あらすじ】

今までと変わらない日常、学校生活がいきなり絶望感に陥ってしまった、南亜紀の友情物語。

（前書き）

ある日突然、南亜紀の変な噂が流れた。噂を信じて亜紀の事を疑う担任、そして親……。噂を信じないクラスメート……。心が不安定になる亜紀……。果たして噂は本当なのか？

今日は、心地いい風が吹いていて、遠足日和だ。

いつも学校に遅れて来る仲良し4人組の山田純子、高橋由衣、本多裕貴、佐藤隆史が遅刻して来なくて私はびっくりした。

私の名前は南亜紀。

遠足の行き先は海か……。

私はあまり気がのらなかった。

春なのに海に行ってもつまらないに決まっていると思っていたが、楽しかった。

海には綺麗な貝が沢山落ちていた。

お昼には地元でしかとれない蟹とおにぎりがでてきた。

亜紀は楽しい時間はあつときという間に過ぎてしまつて、もつと遊んでいなかった。

帰りはパーキングエリアに寄つてお土産を買い、学校に着いたらすぐ解散したが、私と山田、高橋、本多、佐藤は本屋に行き、立ち読みをした。

数日後、亜紀の変な噂が流れた。

担任は、一緒にいた山田を呼び出し「南さんが万引きしたみたいだけど何か知ってる？」という問いかけに「亜紀がそんな事する訳ねーだろ。本当の話しかどうかも確かめないで疑うなよ。あたしは亜紀を信じてる。」と言い教室に戻った。

亜紀は家に帰るとお父さんとお母さんが深刻な顔をしていた。

亜紀はきつと噂の事で頭を抱えているのだと思った。

亜紀が帰って来たことに気づいたお父さんは「なんで万引きなんかするんだよ。小遣いあげているんだから万引きする必要ねえだろ」と怒られた亜紀はお父さんとお母さんにまで疑われている。

亜紀は落ち込んだ。

お父さんとお母さんだけは私の事を信じてくれていると思つていたのに……。

翌日、学校に行くとクラスメートが次々と「万引きをしていないって、信じているからね」と言われた瞬間^{とき}涙がこみあげてきた。

自分の事を信じてくれている人が沢山いることが何よりも嬉しかった。

その後の警察の調べで万引きをしたのは亜紀ではなく、他の学校の生徒だということがわかった。

お父さんとお母さんは「亜紀ごめん、ごめんなさい。亜紀の事疑ったりして。親なら自分の子ども事を信じてあげないといけないのに」と泣きながら謝ってくれた。

亜紀は後悔していた。

なんでお父さんとお母さんを悲しませてしまったんだろう？　なんで怒られた時否定しなかったんだろう？

あの時否定していればこんなに悲しませなくて済んだのに。　亜紀は自分をせめずにはいられなかった。

翌日、担任も疑っていたことを謝ってくれた。「南さん、いい友達が沢山いるね」と担任は言つて、教室を出て行つた。

亜紀は「みんな私の事信じてくれてありがとう」と大きな声で言つたら「あたし達みんな友達だから信じるのは当たり前だよ」と言つたのは純子だった。

みんな純子の言つた言葉に頷いていた。

私はこんなに自分の事を思つてくれる人がいる、信じてくれる人がいることをこれからも誇りにしていきたいと思う。

そして、私のような境遇に友達が陥つたら、信じててあげたい。きっとこれから色々なことがあるから。

（後書き）

最後まで読んでくださりありがとうございました。『友達』っていいものですね。一緒に楽しんだり、笑ったりするだけじゃなくて、励ましあったり、言いたいことを言いあったり……時には喧嘩することもあるかもしれません。でも、喧嘩していたことなんてすぐ忘れてしまい、いつの間にか仲直りしていると思います。皆さんも友達を大切にしてください。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8275k/>

かけがえのない友達

2010年10月12日07時18分発行